

施策名：ICT基盤高度化事業

総務省情報流通高度化推進室
03-5253-5751 healthcare-ict@ml.soumu.go.jp

分野

医療・教育分野での未来技術の活用

総合戦略
該当箇所

横2-1-(2)-vi

予算額

令和3年度当初一般会計
85百万円の内数

特徴・
ポイント

- ✓ 近時の遠隔医療の取組みを調査し、遠隔医療モデルに関する参考書等を取りまとめる。
- ✓ 民間PHR事業者においてルールが遵守される仕組みの検討等に向けた調査を行う。

目的

- ・ 医療・健康データを連携・利活用するための基盤を構築・高度化し、医療等サービスの飛躍的な向上・効率化を図ることにより、国民ひとりひとりが良質な医療・健康サービスを楽しむことが可能となり、健康寿命の延伸、医療資源の偏在等、我が国の社会的課題の解決に資する。

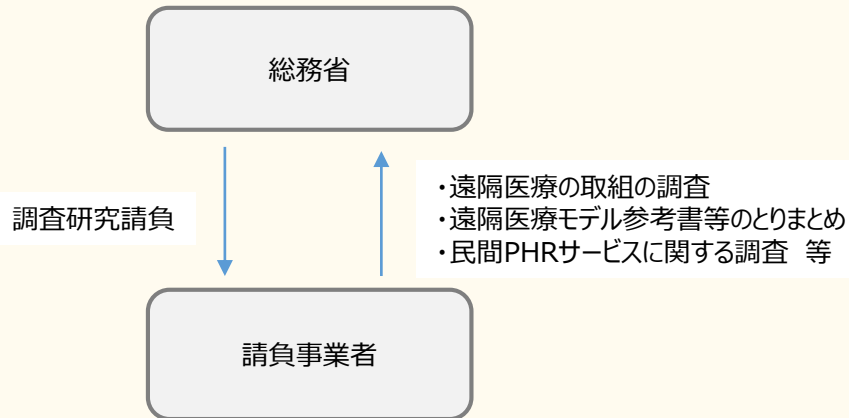
概要

- ・ 新型コロナウイルス感染症を踏まえた遠隔医療の取組を調査し、その調査結果と遠隔医療の最新動向を含めた遠隔医療モデルに関する参考書等を取りまとめる。
- ・ 民間PHR事業者においてルールが遵守される仕組みを官民連携して構築するための検討等に向けた調査を行う。

<期待される効果>

- ・ 国民ひとりひとりが良質な医療・健康サービスを楽しむことが可能となり、健康寿命の延伸、医療資源の偏在等、我が国の社会的課題の解決に資する。

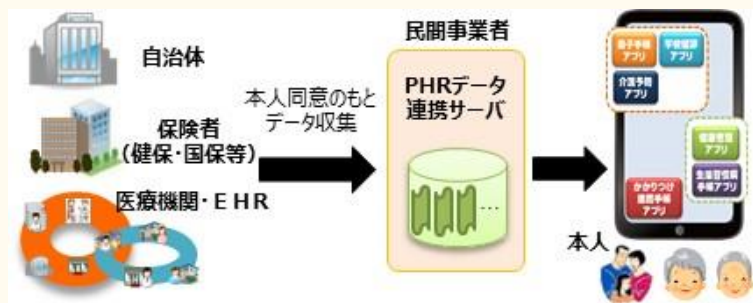
<実施体制>



<遠隔医療モデルの構築>



<PHRサービスの普及展開>

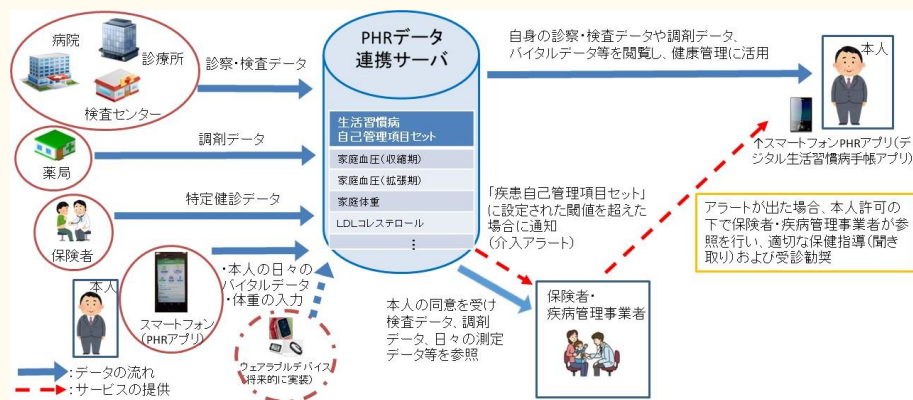


遠隔医療モデル参考書 -オンライン診療版-



- ・平成30年3月（令和元年7月一部改訂）に厚生労働省から「オンライン診療の適切な実施に関する指針」が示され、同年4月の診療報酬改定により「オンライン診療料」等が新設されたこともあり、効率的な手順の明確化、地域で展開が可能な参照モデルの構築が望まれていた。
- ・総務省調査研究結果（平成30年度・令和元年度）を踏まえ、令和2年5月に「遠隔医療モデル参考書 -オンライン診療版-」を取りまとめた。

「生活習慣病重症予防化PHRモデル」



- ・病院・診療所や検査センターから取得する診察・検査データ、薬局から取得する調剤データ、保険者から取得する健診データや、自己測定の高血圧や血糖など本人がスマートフォンで入力したバイタルデータ等の被保険者のPHRデータを保険者や疾病管理事業者が利用して糖尿病の重症化予防を実現。
 - ・6臨床学会（※）により検討され承認を得た「生活習慣病自己管理項目セット」及び「PHR推奨設定」（正常範囲値やリスク階層別の閾値、閾値に応じたアラートを設定）の各項目の閾値を超えると本人のスマートフォンのPHRアプリに介入アラートが通知される。アラートが通知された場合、本人の許可の下でPHRを参照した保険者や疾病管理事業者から受診勧奨など適切な指導を患者に実施する。
- ※日本糖尿病学会・日本高血圧学会・日本動脈硬化学会・日本腎臓学会・日本臨床検査学会・日本医療情報学会